

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあさひば			
○保護者評価実施期間	2026年 8月 1日 ～ 2026年 8月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	2026年 9 月 1日 ～ 2026年 9月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 9月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・広い室内。パーティションの活用。 広い空間を活用し、児童一人ひとりが安心して過ごせる環境を整えています。	パーティションで空間を柔軟に区切り、活動内容や児童同士の相性、特性に応じて環境を調整しています。	児童の様子を職員間で共有し、個々の特性やその日の状態に合わせた環境設定をさらに充実させます。
2	・広い園庭、畑を活用した体験活動 敷地内に広い園庭や畑があり、屋外での遊びや栽培活動など様々な体験ができます。	畑での種まきや収穫を食育につなげ、夏季には園庭で安全に水遊びやプール活動を実施しています。	季節に応じて栽培や収穫体験を増やし、自然に触れる機会と食への関心をさらに高めています。
3	・小学校に特化した環境 小学生に限定した事業所のため、発達段階や学校生活に合わせた支援を行いやすい環境です。	異なる学校の児童が交流する中で集団活動や遊びを通して社会性やコミュニケーションを育んでいます。	学校や学年の違いを生かした交流活動を充実させ、友達との関わりや協力する経験を増やします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学生を対象としているために、中学生以降を継続して放課後等デイサービスの利用が必要な児童には、支援の継続性に課題があります。	小学校卒業後は事業所を利用できないため、児童の発達状況や家庭の希望を踏まえて、中学以降の支援先を早急に検討する必要があります。	卒業後の生活や支援について早期から情報共有し、必要に応じて多事業所や関係機関につなぎ、切れ目のない支援を目指します。
2			
3			